

< 2026.2月号 >

# キャロット通信

084-982-6812 Fax084-982-6813 ✉ hano-office@tkcnf.or.jp  
ほむページ <http://hano-office.tkcnf.com>

羽野事務所発行



## 今月の話題

福

### “グレーゾーンハラスメント”

年末調整や確定申告の繁忙期に突入すると、業務量の増加に集中力が追い付かず、“ヒヤリハット”に血圧が上昇。ともすれば職場環境がトゲトゲしてしまい、飲みニケーションも不発に終わるとリカバリーに苦慮するし。そんな日々との闘いのなか、戦略経営者 10月号に「ハラスメント対策実践法」なる特集記事があり、ニュータイプのハラスメントを見つけました。

「離職リスクを高める“グレーゾーンハラスメント”」を題された記事には、パワハラ・セクハラ・マタハラ・ケアハラの四大ハラスメントに至らないまでも、不快感や戸惑いを覚える言動が指摘されていました。

事例1 — ため息や舌打ち、挨拶を返さないなど、不機嫌な態度で接された。

事例2 — 飲み会等への参加を強制された。

事例3 — 過去の慣習や個人的な価値観・先入観に基づいた発言をされた。

事例4 — 周囲に人がいる場所で人格を否定するような発言をされた。

などを起因として退職を検討するに至る、とのこと。

この超人手不足の時代に、現有スタッフの離脱は何としても阻止したいところですが、自らの発言や態度がステルス兵器のように他者の心を痛めているとすれば、早期発見・早期治療が望まれるのでしょうか。経営者の痛みも理解して欲しいな、とボヤキながらも心当たりだらけの記事に身が引き締まります。

昭和は遠くなりけり。令和の新時代に相応しい言動を心がけるとともに、職場内の風通しを良くしなければ、と思います。(今回は色々とお戒を込めて)



《羽野》

令和8年2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

令和8年3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				